

決算ハイライト
2023年3月期
第2四半期

決算ハイライト

2023年3月期 第2四半期

C ONTENTS

1. 損益の状況	1
(1) 業績サマリー【単体】	1
(2) コア業務粗利益【単体】	2
(3) 経費【単体】	2
(4) コア業務純益・コア業務純益（除く投資信託解約損益）【単体】	2
(5) 与信費用【単体】	3
(6) 経常利益・中間純利益【単体】	3
(7) 親会社株主に帰属する中間純利益【連結】	3
2. 貸出金・預金等の状況	4
(1) 貸出金残高【単体】	4
(2) 中小企業向け貸出金残高【単体】	4
(3) 個人ローン残高【単体】	4
(4) 預金等残高【単体】	5
(5) 預り資産残高【単体】	5
3. 利鞘【単体】	5
4. 不良債権の状況（金融再生法開示債権額）【単体】	6
5. 自己資本比率【単体・連結】	6
6. 有価証券の評価損益【単体】	6
7. 2023年3月期の業績予想【単体・連結】	7

1. 損益の状況

(1) 業績サマリー【単体】

- ▶ **コア業務純益(除く投資信託解約損益)**は、貸出金利息が45百万円減少、投資信託解約損益を除く有価証券利息配当金が1億11百万円減少したものの、役務取引等利益が1億21百万円増加したこと、また、経費が1億73百万円減少したこと等から、**前年同期対比21百万円増加の7億82百万円**となりました。
- ▶ **経常利益**は、国債等債券損益が1億43百万円増加したものの、投資信託解約損益が1億44百万円減少したこと、株式等損益が1億21百万円減少したこと、また、与信費用が1億36百万円増加したこと等により、**前年同期対比2億73百万円減少の8億16百万円**となりました。
- ▶ **中間純利益**は、**前年同期対比2億54百万円減少の5億78百万円**となりました。
- ▶ **中間配当**については、**1株当たり25円**を予定しております。

■ 単体業績サマリー

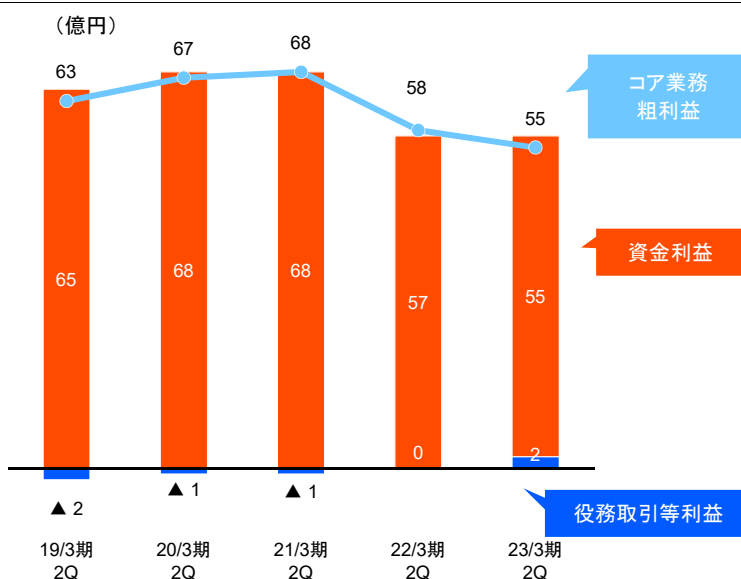
(単位:百万円)	2022年3月期	2023年3月期	前年同期対比	通期業績予想
	第2四半期	第2四半期		
資金利益	5,781	5,522	▲ 259	—
貸出金利息	3,790	3,745	▲ 45	—
有価証券利息配当金	2,027	1,772	▲ 255	—
うち 投資信託解約損益	237	93	▲ 144	—
うち 投資信託解約損益を除く	1,789	1,678	▲ 111	—
役務取引等利益	82	203	121	—
その他業務利益(除く国債等債券損益)	14	▲ 143	▲ 157	—
コア業務粗利益	5,878	5,582	▲ 296	—
△ 経費(除く臨時費用分)	4,879	4,706	▲ 173	—
コア業務純益 *1	999	875	▲ 124	—
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	761	782	21	1,650
国債等債券損益(5勘定戻)	▲ 318	▲ 175	143	—
株式等損益(3勘定戻)	232	111	▲ 121	—
△ 与信費用 *2	▲ 125	11	136	—
その他臨時損益	50	18	▲ 32	—
経常利益	1,089	816	▲ 273	1,450
特別損益	▲ 0	2	2	—
税引前中間純利益	1,088	818	▲ 270	—
中間純利益	832	578	▲ 254	1,000

*1 コア業務純益 = 資金利益 + 役務取引等利益 + その他業務利益 - 国債等債券損益 - 経費

*2 与信費用 = 不良債権処理額 + 一般貸倒引当金繰入額 - 償却債権取立益

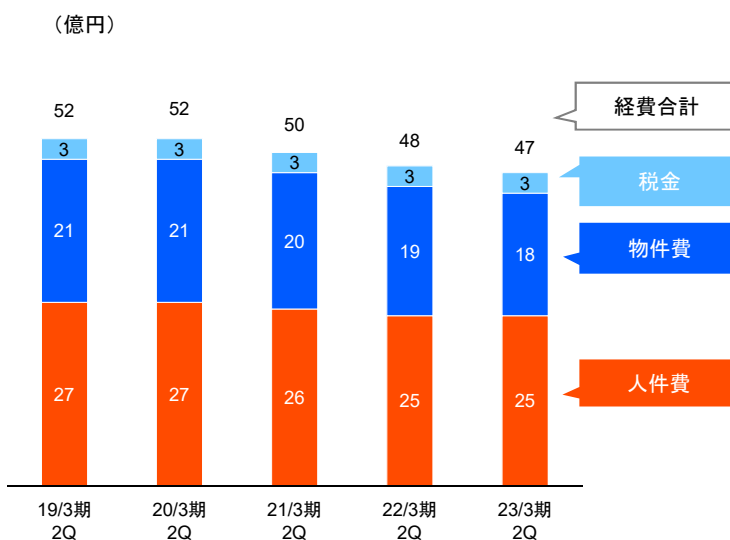
(2)コア業務粗利益【単体】

- ▶ コア業務粗利益は、前年同期対比2億96百万円減少の55億82百万円となりました。
- ▶ 資金利益は、貸出金利息および有価証券利息配当金が減少したこと等により、前年同期対比2億59百万円減少の55億22百万円となりました。
- ▶ 役員取引等利益は、前年同期対比1億21百万円増加の2億3百万円となりました。



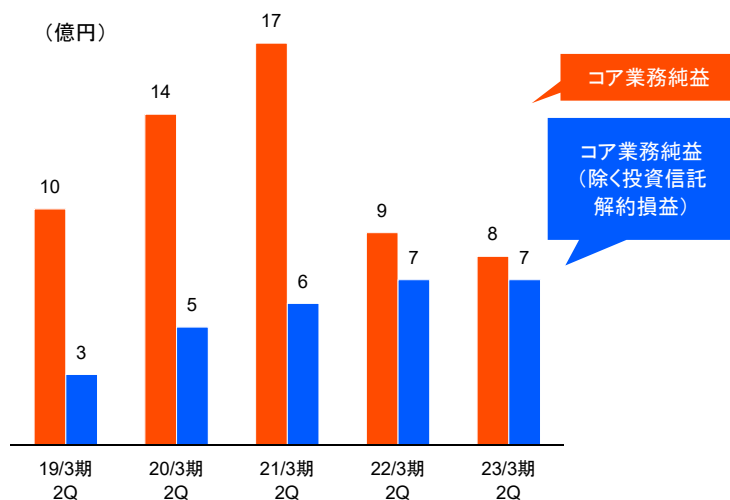
(3)経費【単体】

- ▶ 経費は、前年同期対比1億73百万円減少の47億6百万円となりました。
- ▶ 人件費は、時間外労働の削減などにより、前年同期対比43百万円減少の25億15百万円となりました。
- ▶ 物件費は、預金保険料率の低下や減価償却費の減少などにより、前年同期対比89百万円減少の18億79百万円となりました。



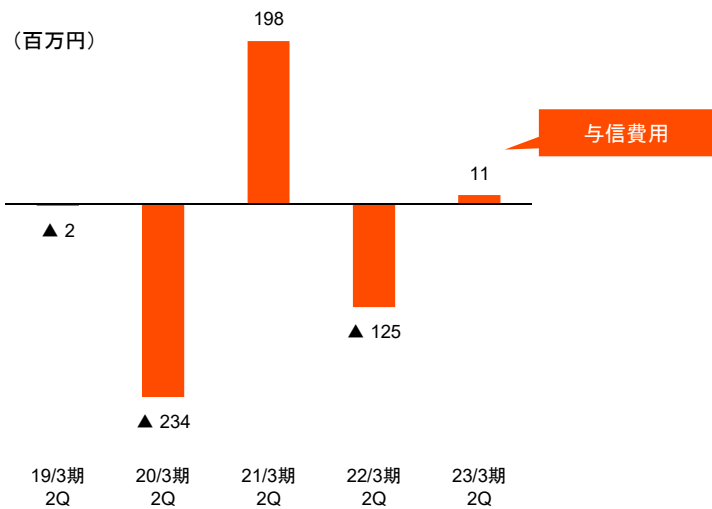
(4)コア業務純益・コア業務純益(除く投資信託解約損益)【単体】

- ▶ コア業務純益は、前年同期対比1億24百万円減少の8億75百万円となりました。
- ▶ コア業務純益(除く投資信託解約損益)は、前年同期対比21百万円増加の7億82百万円となりました。



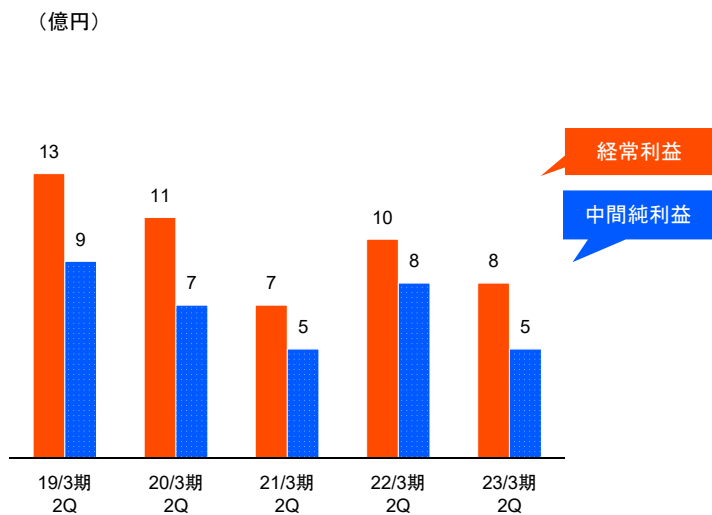
(5) 与信費用【単体】

- ▶ 与信費用は、前年同期は事業支援による与信先のランクアップがあったことなどにより戻入となりましたが、当期は繰入となったことから、前年同期対比1億36百万円増加の11百万円となりました。



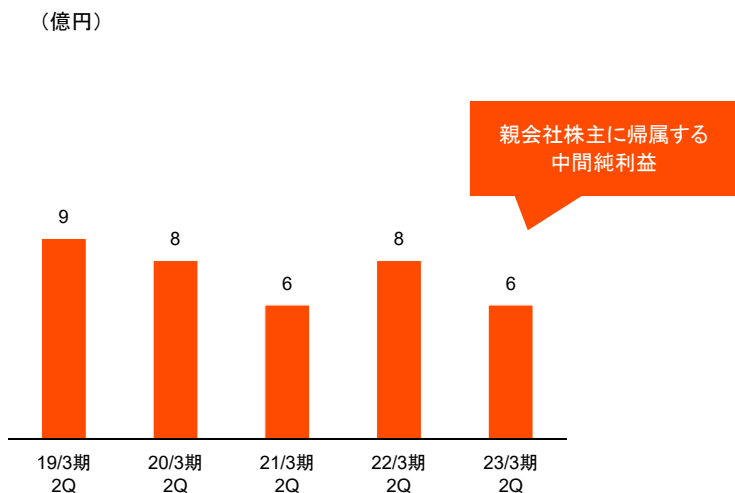
(6) 経常利益・中間純利益【単体】

- ▶ 経常利益は、前年同期対比2億73百万円減少の8億16百万円となりました。
- ▶ 中間純利益は、前年同期対比2億54百万円減少の5億78百万円となりました。



(7) 親会社株主に帰属する中間純利益【連結】

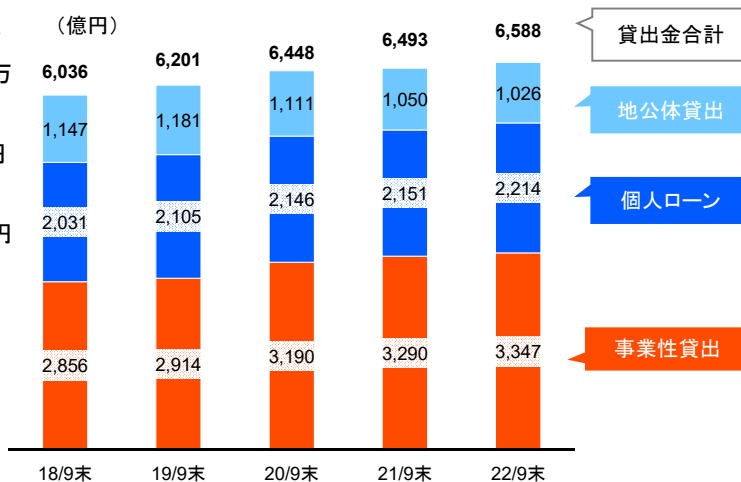
- ▶ 親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期対比2億80百万円減少の6億19百万円となりました。
- ▶ 中間配当は、1株当たり25円を予定しております。



2. 貸出金・預金等の状況

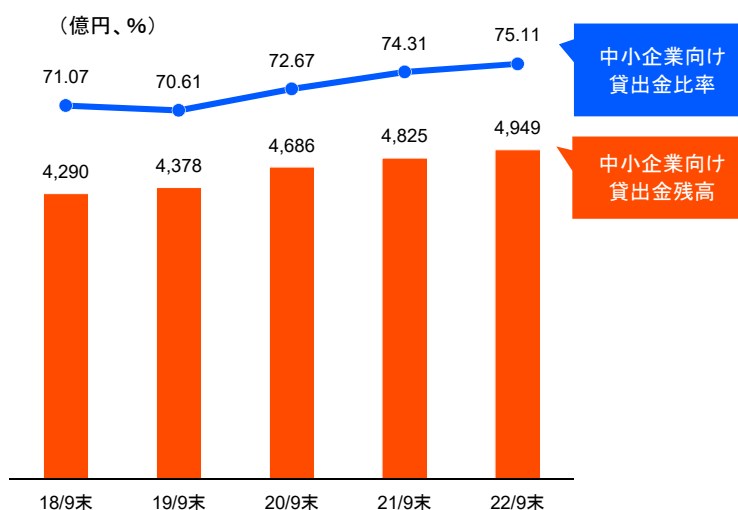
(1) 貸出金残高【単体】

- ▶ 貸出金残高は、事業性貸出および個人ローンが増加した結果、前年同期末対比95億11百万円増加の6,588億48百万円となりました。
- ▶ 事業性貸出は、前年同期末対比57億1百万円増加の3,347億75百万円となりました。
- ▶ 個人ローンは、前年同期末対比62億48百万円増加の2,214億30百万円となりました。



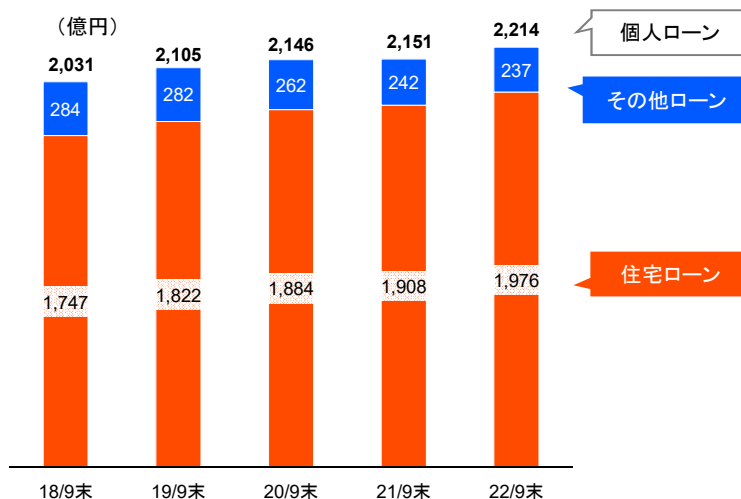
(2) 中小企業向け貸出金残高【単体】

- ▶ 中小企業向け貸出金残高は、前年同期末対比123億60百万円増加の4,949億21百万円となりました。
- ▶ 上記の結果、中小企業向け貸出金比率は、前年同期末対比0.80ポイント上昇の75.11%となりました。



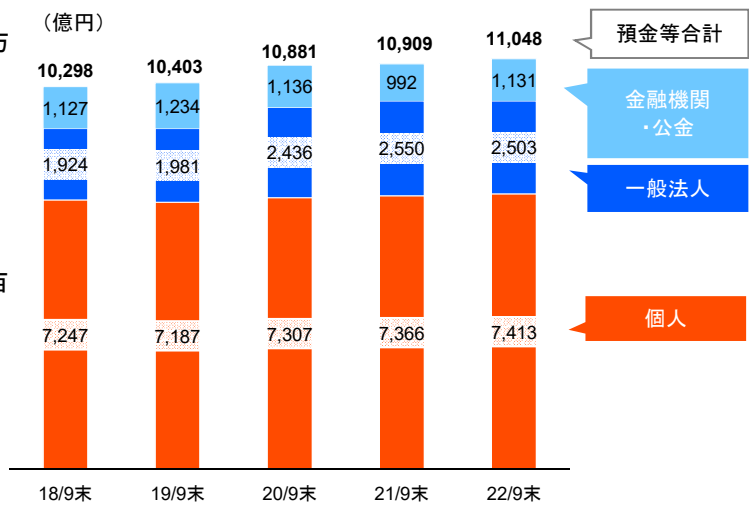
(3) 個人ローン残高【単体】

- ▶ 個人ローンは、前年同期末対比62億48百万円増加の2,214億30百万円となりました。
- ▶ 住宅ローンは、前年同期末対比68億12百万円増加の1,976億96百万円となりました。
- ▶ その他ローンは、前年同期末対比5億64百万円減少の237億34百万円となりました。



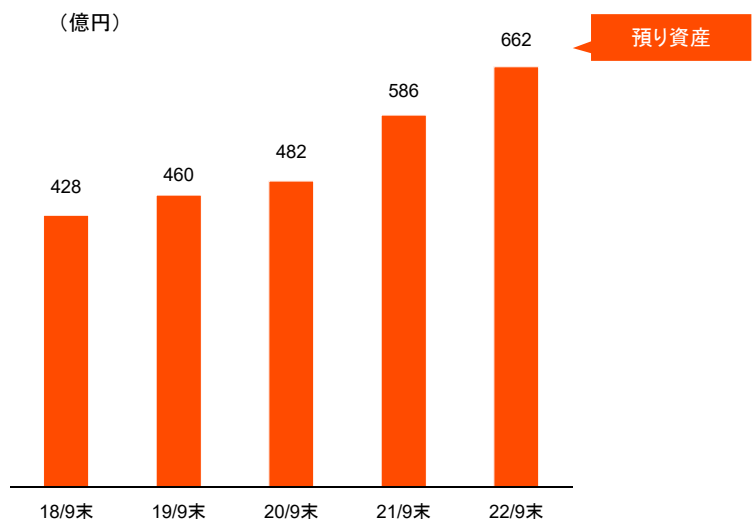
(4) 預金等残高【単体】

- ▶ 預金等残高は、前年同期末対比139億36百万円増加の1兆1,048億91百万円となりました。
- ▶ 個人預金は、前年同期末対比46億70百万円増加の7,413億35百万円となりました。
- ▶ 一般法人預金は、前年同期末対比46億42百万円減少の2,503億97百万円となりました。
- ▶ 金融機関・公金は、前年同期末対比139億9百万円増加の1,131億58百万円となりました。



(5) 預り資産残高*【単体】

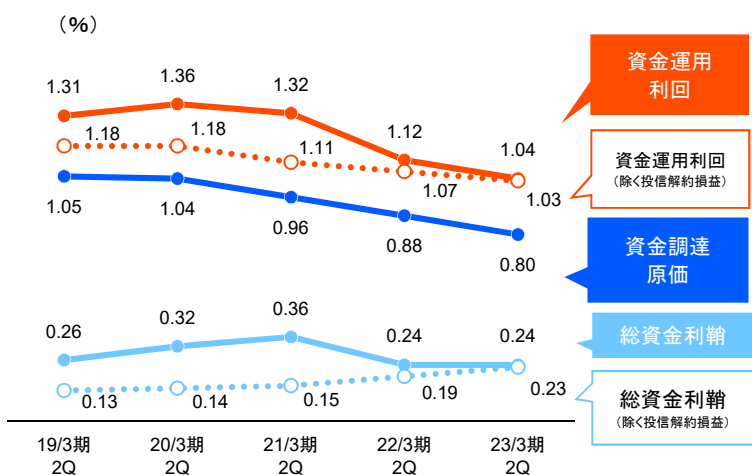
- ▶ 預り資産残高*は、終身保険の増加および投資信託残高の増加等により、前年同期末対比76億1百万円増加の662億20百万円となりました。



* 預り資産残高は、個人年金保険、投資信託、公共債等の合計

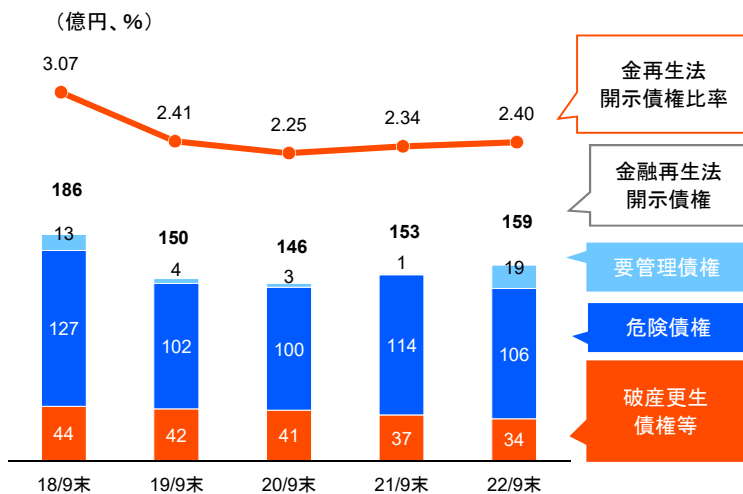
3. 利鞘【単体】

- ▶ 資金運用利回りは、貸出金利回および有価証券利回の低下等により、前年同期対比0.08ポイント低下の1.04%となりました。
- ▶ 資金運用利回(除く投信解約損益)は、前年対比0.04ポイント低下の1.03%となりました。
- ▶ 資金調達原価は、経費率の低下等から、前年同期対比0.08ポイント低下の0.80%となりました。
- ▶ 上記の結果、総資金利鞘は、前年同期から横ばいの0.24%となりました。
- ▶ 総資金利鞘(除く投信解約損益)は、前年同期対比0.04ポイント上昇の0.23%となりました。



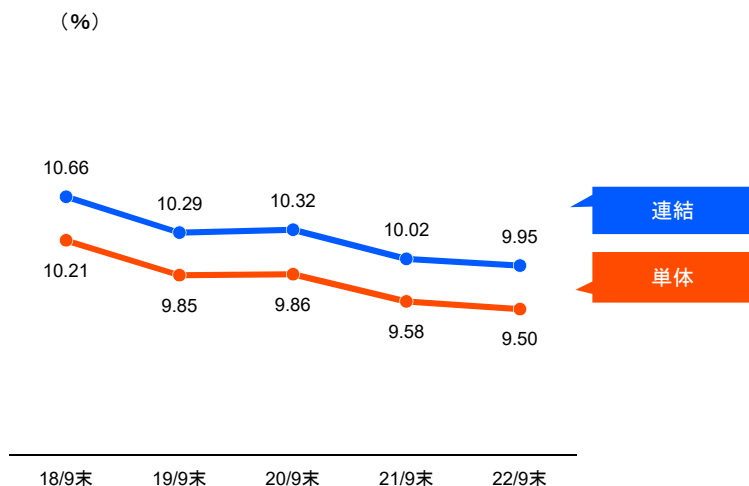
4. 不良債権の状況(金融再生法開示債権額)【単体】

- ▶ 金融再生法開示債権額は、前年同期末対比6億57百万円増加の159億74百万円となりました。
- ▶ 金融再生法開示債権比率は、前年同期末対比0.06ポイント上昇の2.40%となりました。
- ▶ 金融再生法開示債権の保全率は、前年同期末対比0.19ポイント上昇の81.90%となりました。
- ▶ 部分直接償却を実施した場合の金融再生法開示債権額は143億1百万円、金融再生法開示債権比率は2.15%となりました。



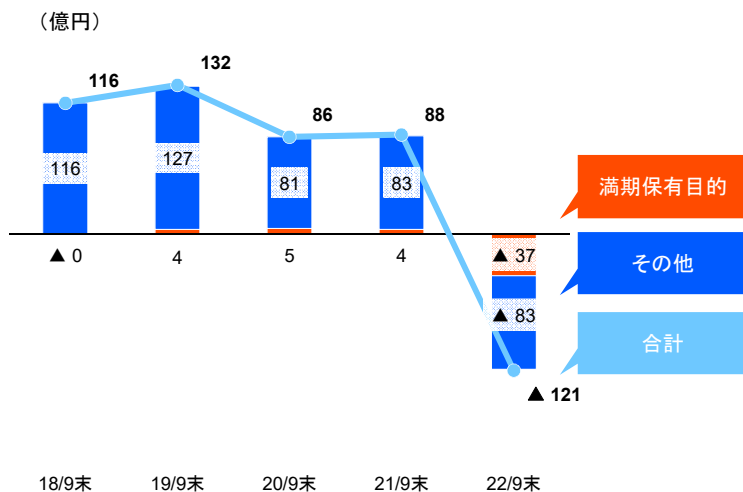
5. 自己資本比率【単体・連結】

- ▶ 単体の自己資本比率は、リスク・アセットの増加等により、前年同期末対比0.08ポイント低下の9.50%となりました。
- ▶ 連結の自己資本比率は、前年同期末対比0.07ポイント低下の9.95%となりました。



6. 有価証券の評価損益【単体】

- ▶ 有価証券の評価損益は、前年同期末対比209億64百万円減少の121億12百万円の評価損となりました。
- ▶ なお、有価証券の評価損益のうち、満期保有目的有価証券の評価損益は37億34百万円です。



7. 2023年3月期の業績予想【単体・連結】

- ▶ 単体は、コア業務純益(除く投資信託解約損益)16億50百万円、経常利益14億50百万円、当期純利益10億円を見込んでおります。
- ▶ 連結は、経常利益16億円、親会社株主に帰属する当期純利益11億円を見込んでおります。
- ▶ なお、上記の見込は2022年5月13日に公表いたしました業績予想からの修正はございません。

■ 単体業績予想

(単位:百万円)	2022年3月期	2023年3月期	
	実績	業績予想	前年対比
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	1,459	1,650	191
経常利益	1,744	1,450	▲ 294
当期純利益	1,231	1,000	▲ 231

■ 連結業績予想

(単位:百万円)	2022年3月期	2023年3月期	
	実績	業績予想	前年対比
経常利益	1,917	1,600	▲ 317
親会社株主に帰属する当期純利益	1,336	1,100	▲ 236